

### 3. 経営方針

#### (1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、グループ社員が価値観を共有しグループの進むべき方向を対外的にも明確にするため、グループビジョン「技術の翼と革新の心。世界にはばたく私たちのDNAです。フロンティアスピリットを胸に無限の技術で世界と共生するUBEグループは、次代の価値を創造し続けます。」を掲げております。

100年を超える歴史を持つ当社は、発祥の地・宇部で始めた石炭採掘事業以来、時代と産業構造の変化に対応し、常に新たな技術に挑戦し、自己変革を行ってきました。しかしその中で一貫して変わらなかった理念、それをこのグループビジョンでは「技術」と「革新」というキーワードで表わしています。

このグループビジョンの下、更なる飛躍を目指してまいります。

#### (2) 目標とする経営指標

当社グループは、平成22（2010）年度を初年度として策定した3ヵ年の中期経営計画「ステージアップ 2012－新たなる挑戦－」において、平成27（2015）年度のターゲットを以下のとおり設定いたしました。

[2015年度のターゲット指標]

- 営業利益700億円以上
- 売上高営業利益率・総資産事業利益率 各8%以上

「ステージアップ 2012」はこれを実現するための直近3ヵ年のアクションプランという位置付けであり、最終年度に達成すべき数値目標を下記のとおり掲げております。

#### 1) 経営指標

		ステージアップ2012 最終年度目標
財務 指標	ネットD/Eレシオ	1.0倍未満
	自己資本比率	30%以上
収益 指標	売上高営業利益率	7.5%以上
	総資産事業利益率 (ROA)	7.5%以上
	自己資本当期純利益率 (ROE)	12%以上

#### 2) 損益計算書・貸借対照表の主要項目

	ステージアップ2012 最終年度目標
売上高	6,700億円以上
営業利益	530億円以上
事業利益	550億円以上
純有利子負債	2,200億円未満
自己資本	2,250億円以上

#### (3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、中期経営計画「ステージアップ 2012－新たなる挑戦－」において、下記の基本方針を掲げております。

#### 「ステージアップ 2012－新たなる挑戦－」の基本方針

##### ①持続的成長を可能にする収益基盤の確立

- i) 成長戦略事業と中核基盤事業のバランスを取りながら事業ポートフォリオの最適化を進め、持続的成長を目指す。
- ii) 成長戦略事業の中でも、特に医薬、電池材料、ファインケミカルの3事業については、成長を牽引する最重点事業として位置付けるとともに、ポリイミドチェーンについては技術・生産体制を強化し、太陽電池や自動車部材向けフィルムを始めとする新規需要を取込みながら、確実に成長軌道に乗せる。
- iii) 新興国市場のボリュームゾーンへの展開を見据え、化学製品においては生産技術の革新と新プロセス開発によりコスト競争力の強化を図り、機械製品等についてはシンプルで低価格の製品開発などに注力する。
- iv) カプロラクタムチェーンや合成ゴム事業においては、中国・インド等アジア市場をターゲットとしたタイ拠点の拡充並びに現地企業との連携体制の構築、スペイン拠点を利用した南米市場への展開など、海外を中心に収益基盤を更に磐石なものとする。一方、機械事業においてはグローバルサービス網を拡充するなど、各事業特性に応じた海外展開を進める。
- v) セメント・生コン、成形機等、需要の停滞ないし縮小がしばらくの間見込まれる事業分野においても、生産体制の再構築や設備の統廃合等を行ないながら、着実に利益を確保していく。

## ②財務構造改革の継続

- i) 「ネットD/Eレシオ1未満」を早期に達成し、A格取得可能な財務体質を実現する。
- ii) キャッシュフロー創出のため、設備投資は前中計に引き続き3年間で減価償却費相当額程度に抑え、在庫管理の強化や販売・構内物流費の削減にも継続的に取組むとともに、管理間接業務の効率化を推進する。
- iii) 一方で、上記最重点事業や基盤強化のための必要な投資は厳選して実行するとともに、成長の加速や事業構造の变革のためのアライアンス・M&Aには、積極的に取組む。

## ③地球環境問題への対応と貢献

- i) 企業の社会的責任として、温室効果ガスや廃棄物の排出量の削減、並びに省エネに主体的に取り組むとともに、環境に貢献する技術や製品の創出を促進し、事業チャンスとして自らの成長に取込んでいく。

## キーワード：「スピードと革新」

事業環境が激変し、経営を取り巻くあらゆる局面でパラダイムシフトが進行する中、経営のスピードアップと継続的な自己変革は不可欠です。前中計のビジョンや基本方針は堅持しながらも、変化に即した柔軟な対応や業務の絶えざる見直し・効率化を図る一方、変化をチャンスにするチャレンジ精神や「変わらないことが最大のリスク」とする革新的企業風土の醸成を一層進めます。

## (4) 会社の対処すべき課題

今後の経済情勢につきましては、引き続き新興国の経済成長が期待されるもののそのテンポは鈍化しており、先進国でも景気回復の足取りは弱く、欧州財政危機の影響などにより世界経済は依然景気の下振れ懸念が拭えない状況です。国内経済においても、東日本大震災からの復旧・復興需要は見込まれるものの、原子力発電設備の再稼働状況によっては電力の供給制約や価格上昇が見込まれ、原燃料価格や為替等の先行き不透明な要因もありますことから、事業環境は予断を許さない厳しい先行きが予想されます。

このような状況の下、当社グループは、今年度が最終年度となる三ヵ年の中期経営計画「ステージアップ 2012ー新たな挑戦ー」の基本方針である「持続的成長を可能にする収益基盤の確立」「財務構造改革の継続」「地球環境問題への対応と貢献」を引き続き進展させるため、グループの総力を結集しスピード感を持って取組んでまいります。

さらに、当社グループでは「CSR（企業の社会的責任）は、社会的公器としての役割を果たすという、企業の経営そのものである」との認識に基づき、コンプライアンスおよびリスク管理等の充実による公正な企業活動を推進するとともに、グループの創業時の理念である「共存同栄」の精神の下、社会との共生を目指し、株主や資本市場をはじめ、取引先・従業員・地域社会等、すべてのステークホルダーからの信認を深めてまいります。